

# ニュースリリース

**2014年世界ポリオデー**

**4,470万ドルをアフリカ・アジア・中東でのポリオ撲滅活動に投入**

**米国エバンストン（2014年10月21日付）**

世界におけるポリオ（急性灰白髄炎）の発症数は99％減少し、ポリオ撲滅は“あと少し”に迫っています。ロータリーは、2018年までのポリオ撲滅をめざす[GPEI（全世界ポリオ撲滅推進計画）](http://www.polioeradication.org/Home.aspx)の主要パートナーとして、10月24日の「世界ポリオデー」を前に、予防接種、監視活動、研究を強化するための4,470万ドルを投じます。

撲滅が実現した場合、ポリオは、天然痘に次いで人類が撲滅する史上2番目の疾病となります。大々的な予防接種活動によって、今日までに193カ国でポリオ感染が阻止されてきました。ロータリーによる今回の資金投入は、現在もポリオの危険にさらされている国々の子どもを守ることが主な目的です。

「今回の資金投入は世界ポリオデーに合わせたもので、世界的なポリオ撲滅活動への認識と支援を高めるためでもある」と話すのは、国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長です。「ロータリーはポリオ撲滅を歴史に刻むために全力を尽くします。ポリオフリーの世界を築くためにも皆さんからのご支援をお願いいたします」

2018年までの撲滅をめざす活動では、25億人の子どもに投与された経口ワクチン（OPV）を補完するかたちで、注射による不活化ワクチン（IPV）も新たに導入されます（OPVの使用はポリオが撲滅されるまで継続）。これを先導するのは、ポリオワクチン製造の最大手サノフィパスツール社です。また同社は、世界ポリオデーにロータリーと共催で特別イベントをシカゴで開催します。

「IPVの導入により、ポリオ撲滅への最終章がはじまる」と話すのは、サノフィパスツール社CEOのオリビエ・シャーメイユ氏です。「同社では、OPVを使用して開始された活動に終止符を打つのはIPVであると、兼ねてからビジョンを抱いてきました。ポリオ撲滅活動の立役者であるロータリーと協力できるのは光栄なことです」

約1,850万ドルの資金は、今も野生ポリオウイルスによる感染が起きている次の3カ国で使用されます：アフガニスタン（740万ドル）、ナイジェリア（840万ドル）、パキスタン（270万ドル）。また、950万ドルは、ポリオフリーとして認定されたものの、上記3カ国からのウイルス流入によって感染が起きている次の国で使用されます：カメルーン（350万ドル）、エチオピア（200万ドル）、ソマリア（400万ドル）。

さらに、1,040万ドルは、ポリオフリーに認定されているものの、再感染のリスクが高い国で使用されます：コンゴ（150万ドル）、インド（490万ドル）、ニジェール（100万ドル）、南スーダン（200万ドル）、スーダン（100万ドル）。

残りの570万ドルは、ポリオ撲滅のための研究費として使用されます。

また、ロータリーでは、撲滅活動のパートナー団体であるユニセフと世界保健機関（WHO）への資金提供も行っています。これらの団体は、ポリオの影響下にある国の政府やロータリー会員と協力し、予防接種の実施計画を立てます。

現在、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団とのパートナーシップにより、2018年まで毎年、ロータリーからポリオ撲滅に寄せられる寄付に対して、2倍の資金がゲイツ財団より上乗せされます（上乗せの対象となるロータリーからの寄付は、各年3,500万ドルまで）。

2013年に確認されたポリオ感染はわずか416件。毎年350,000人が感染していた撲滅活動開始当時の1988年から大きく減少しました。

**世界ポリオデーのライブストリームイベント**：<http://ow.ly/A7OKy>

10月24日、シカゴ時間の午後6時半（日本時間は25日午前8時半）に、世界ポリオデーのライブストリームイベントが行われます。2回目となる今回のイベントでは、『タイム』誌の科学・テクロロジー部編集者であるジェフリー・クルーガー氏が司会を務め、ポリオ撲滅の最新情報に加え、次のゲストによる講演やライブパフォーマンスが行われます。

* **テッサン・チン**：アメリカで人気の音楽オーディション番組「The Voice」で2013年に優勝。ライブパフォーマンスを披露します。
* **レゲエ歌手ジギー・マーリー**：ビデオメッセージとパフォーマンスが上映されます。
* **ミンダ・デントラー**：ポリオ経験者であるトライアスロン選手。サノフィパスツール社CEOの[オリビエ・シャーメイユ氏](http://en.sanofi.com/investors/corporate_governance/corporate_management/bio_charmeil.aspx)と医療・科学シニアアドバイザーであるベルナルデ・ヘンドリックス氏によるビデオを通じて彼女の体験談を紹介します。
* 米国疾病対策センター（CDC）のシニアメディカル疫学者である**ジェームズ・アレクサンダー**、国際ロータリー事務総長の**ジョン・ヒューコ**、ロータリー財団副管理委員長の**マイケル・マクガバン**による講演が行われます。

**ロータリーについて**

世界120万人の会員から成るボランティアのネットワーク、[ロータリー](http://www.rotary.org/ja)は、地域社会を支援する草の根の活動から、全世界で[ポリオを撲滅する国際的取り組み](http://www.endpolio.org/ja)まで、200以上の国と地域にあるロータリークラブを中心に奉仕活動しています。1988年、ロータリーは、 WHO、ユニセフ、CDCとともに、世界ポリオ撲滅推進計画を開始しました。ロータリーの動画や写真は、[メディアセンター](https://www.rotary.org/ja/news-features/media-center)からご覧ください。

**連絡担当：**Vivian Fiore（米国本部電話：+1-847-866-3234、[vivian.fiore@rotary.org](mailto:vivian.fiore@rotary.org)）